

平成 28 年 2 月 26 日

横浜市立小学校長様
横浜市立小学校算数部主任様

横浜市小学校教育研究会長 石橋 孝重
横浜市小学校算数教育研究会長 清水 誉志人

「市算研ニュース」のお知らせ

晩冬の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。横浜市小学校算数教育研究会の活動につきましては、日頃よりご理解、ご支援をいただき深く感謝しております。

さて、本研究会では、研究会の様子を「市算研ニュース」としてお伝えしております。貴校算数部の先生方を中心に、是非皆様にご覧いただけますようお願い申し上げます。

2月の市算研

○宿泊研修会

2月6・7日、マホロバマイズ三浦で宿泊研修会が行われました。

○第二次教育研究大会

算数指導法基礎講座の活動報告が行われた後、各学年部会長が今年度の成果を授業スタイルで発表しました。

市算数研究会 今後の予定

3月2日(水) 年度末総会・授業研究会（青木小）

今年度のまとめから来年度へ～年度末総会

<主な議題> ○平成 28 年度研究計画・役員について
○会則の改正について

算数のこれからを見すえた授業研究会

<講師> 笠井健一先生（文部科学省教育課程調査官）
<授業> 5年「百分率とグラフ（割合の日常への活用）」
<授業者> 八城政徳先生（つづきの丘小・市算研役員）

○当日の流れ

13:30 受付開始
13:45 研究授業
14:40 年度末総会
15:20 事後研究会

宿泊研修会（2月6・7日 マホロバマイズ三浦）

清水先生、久保田先生による講演、齊藤先生による講話のあと、懇親会が行われました。
昨年度に比べ、大変多くの会員の方にご参加いただき、講演・懇親会ともに充実した会となりました。

講演 「四角形と三角形の面積」の実践から 久保田節子先生（市算研会計監査：青木小校長）



50周年の際に授業提案された内容や最近も実践された三角形の求積公式を活用する授業についてお話していただきました。児童が図形を動的に見る、関数の考えを使う、根拠を説明する、発展的に考える姿を具体的に示していただきました。



講演 生活の中から算数を 清水誉志人先生（市算研会長：鶴ヶ峯小校長）



50周年記念研究大会で実践・発表された「生活の中から見つけた数（ケナフ）」についてご紹介いただきました。さらに、身の回りにある、黄金比、白銀比、フィボナッチ数列や、それらを紙を折って作ることにについて、実際に作業しながらお話いただきました。



講話 「学習指導要領改訂の方向性」 齊藤一弥先生（市算研副会長：羽沢小校長）



学習指導要領改訂の流れ、改訂の目指す方向、改訂の視点、現在課題になっていることについてお話していただきました。これからの算数の授業をどのように作っていくか示していただきました。

懇親会 ～お話された先生方を囲んで～

VIPルームで行いました。50名を超える先生方が参加されました。



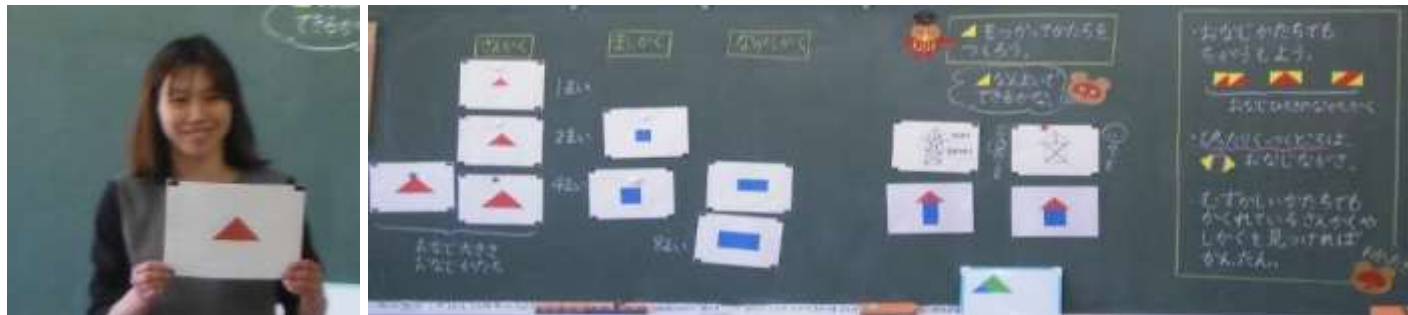
2次会はホームパーティ形式で行いました。宿泊されない方も時間の許す限り一緒に楽しみました。

各部会の様子

算数指導法基礎講座の活動報告の後、各部会の成果について部会長が発表しました。ここでは、講師の主な指導について紹介します。提案の内容については2月の案内をご参照ください。

カラー版は市算数研究会ホームページをご覧ください。「横浜市小学校算数教育研究会」で検索、もしくはYYネットの「teachers' room」から「研究会のホームページ」へ。

1年部会「かたちづくり」二俣川小学校 中村智恵先生



＜講師の主な指導内容＞講師 芝フク代先生（東中田小校長）堀江弘二先生（元釜利谷小校長）
「色々な形ができたね」で終わらず、児童が図形の組み合わせ方を説明したり、4枚の色板でたくさんの基本図形ができるすごさを感じたりすることが、図形の見方を身につけ、思考力表現力を向上させることにつながる。

2年部会「はこの形」上瀬谷小学校 小島康弘先生



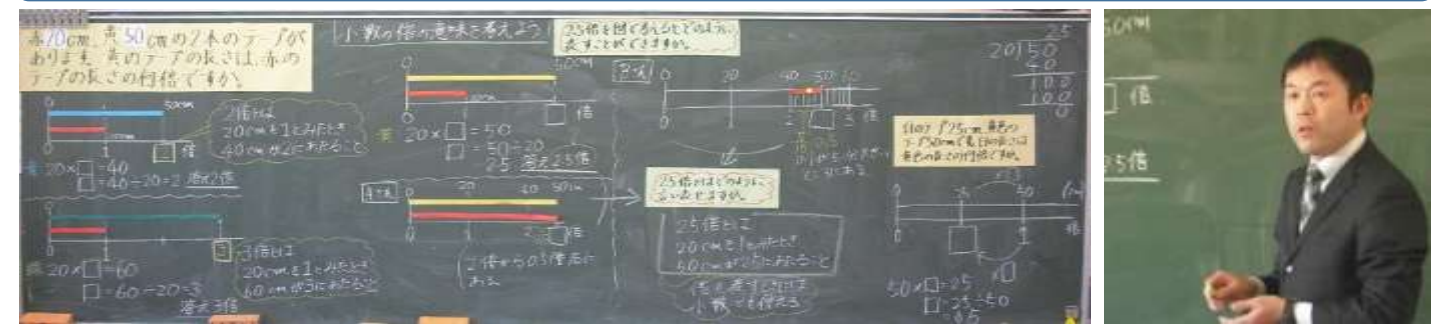
＜講師の主な指導内容＞講師 柳澤潤先生（六つ川台小校長）
観察し構成することを繰り返し、箱の形についての見方が豊かになったことや箱を作れたことの価値に気付くようにして、「やった感」をもたせることが大切である。単元計画上の位置づけも工夫するとよい。

3年部会「棒グラフと表」平安小学校 當道華奈子先生



＜講師の主な指導内容＞講師 大島宏二先生（岸谷小校長）
実践の中で汎用的な能力に迫ることは難しいが、大切なことである。そのような能力を身に付けた子どもの姿を具体的に考え、指導計画や本時展開に位置付け、指導案に示すことで、研究を深めていくことができる。

4年部会「小数のかけ算とわり算」富岡小学校 恒吉信一先生



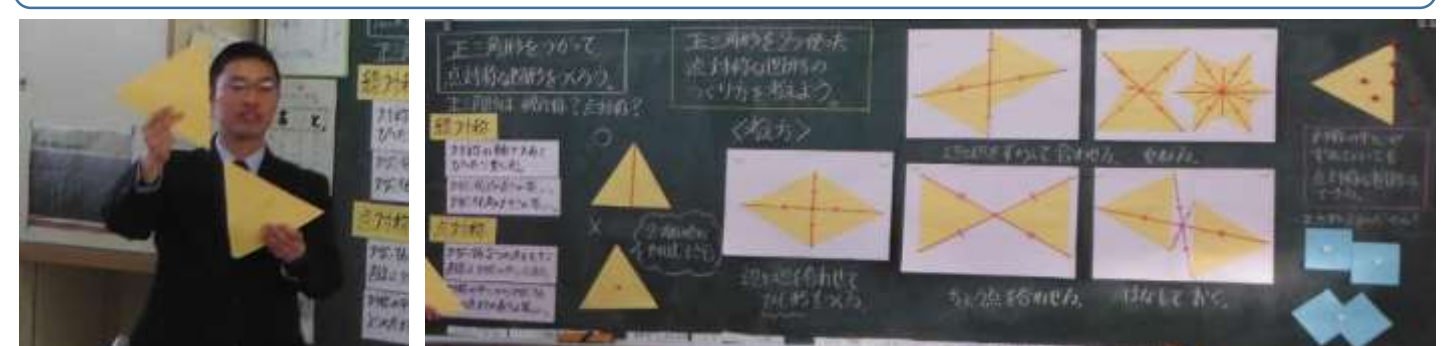
＜講師の主な指導内容＞講師 田子康之先生（中川小校長）小林広昭先生（山下みどり台小校長）
整数倍の意味から類推して、小数倍について考えられるように工夫されていた。「何個分」という見方から、「いくつに当たる大きさか」という見方へ変えるために、数直線のめもりを読むことが大切である。

5年部会「分数のかけ算とわり算」永野小学校 渡邊督之先生



＜提案の内容・講師の主な指導内容＞講師 栗原繁昌先生（柏尾小校長）
数直線をかき、横や縦に見ることで、場面の構造を把握でき、関係を見出す力もつけられる。ここで育てられる汎用的な能力としては、統合・発展について考えること、関連付けて考えることが挙げられる。

6年部会「対称な図形」常盤台小学校 能登谷亮先生



＜講師の主な指導内容＞講師 菊地信明先生（今宿南小校長）南部礼子先生（浜小校長）
いろいろな図形つくる中で、定義に戻って確認したり、対称の中心に着目したりして、根拠を持って図形を捉え、説明できることが大切である。平面での回転と立体での回転の違いが分かりやすくなるとよい。